

「生活者としての外国人」に対する 日本語教師【初任】研修講座

この事業は、文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を富山県が受託して実施するものです。

地域社会には多様な背景をもつ外国人が生活しています。

2019年に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、日本語教育における国・地方公共団体・事業主の責務が明記されました。地域日本語教育においては、日本語教師としての専門性を有する人材が強く求められています。

地域日本語教育に関心がある方、また、従来の日本語教育の枠組みを超え幅を広げたいと思っている方は、第一線で活躍する県内外の経験豊かな講師と共に学びましょう！

申込締切

7/31日

日程

受講者説明会：令和4年8月27日(土) 13:00-15:00

※詳細については、受講者決定後お知らせします

講座：令和4年9月3日～令和5年2月18日(土曜日 全13日)
13:00-15:00, 15:15-17:15 (1日2コマ、4時間)

実習：講座とは別に、1、2月に県内地域日本語教室にて実施

場所

富山県教育文化会館（富山市舟橋北町7-1）

※1/21, 2/4, 2/18は環日本海交流会館（富山市内幸町6-6）

※一部オンライン（Zoom）実施となる場合があります

定員

15名程度

※書類選考あり（志望理由を作成していただきます）

※8月12日（金）までにメールにて受講可否をお知らせします

対象

以下のすべてを満たす方

- ・法務省告示校の日本語教師要件を満たす方
- ・オンライン実施の場合に必要な環境を整えることができる方
- ・原則として全講座に参加できる方

受講料

10,000円（税込）

申込方法

下記URLまたはQRコードから申し込み

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/MpkvFUij>



問合せ先

カリキュラムに関すること 日本語教育機関トヤマ・ヤポニカ

E-mail : japonica@fsinet.or.jp

本事業に関すること

富山県生活環境文化部国際課

E-mail : akokusai@pref.toyama.lg.jp



研修スケジュール

【講師陣】 大河原尚（大東文化大学）/大関浩美（麗澤大学）/御館久里恵（鳥取大学）/
門美由紀（東洋大学）/品田潤子（BPC研修サービス）/高畠智美（トヤマ・ヤポニカ）/
田上栄子（トヤマ・ヤポニカ）/中河和子（トヤマ・ヤポニカ）/
半原芳子（福井大学）/松岡裕見子（トヤマ・ヤポニカ）/松岡洋子（岩手大学）

※五十音順

【研修時間】 1コマ 2時間, 1日2コマ(4時間) ※2月18日のみ1コマ

1コマ目: 13:00-15:00、2コマ目: 15:15-17:15

受講者説明会

回	研修日(土)	講師	科目名
0	8月27日 13:00-15:00	場所: 富山県教育文化会館 ※詳細については、受講者決定後にお知らせします	
1	9月3日	松岡(洋)	地域日本語教育と社会の状況 ・地域の多文化化の状況 ・外国人が直面する課題 ・多文化共生社会の形成に関わる法と制度
		松岡(洋)	
2	9月17日	中河	地域日本語教育の在り方 ・地域日本語教室の在り方と変遷 ・生活者日本語教師とは/支援者とは ・社会参画のための教育としての対話活動の意義
		門	
3	10月1日	御館	対話活動 ・対話活動を支える学習理論 ・対話活動とは ・対話活動の体験 ・対話活動のデザイン
		中河	
4	10月15日	田上	
		トヤマ・ヤポニカ 講師	
5	10月29日	品田	課題達成型活動 ・教育としての課題達成型活動とは ・課題達成型活動のデザイン ・課題達成型の模擬活動、フィードバック
		品田	
6	11月12日	大関	生活者日本語教師に求められる力(2) ・学習者能力をどう捉えるか ・習得論を学び直す
		トヤマ・ヤポニカ 講師	
			生活者日本語教師に求められる力(3) ・学習者の実際 ・学習者の分析 ・ニーズ分析とは ・社会的ニーズとは ・生活者としての外国人の学びの特徴

回	研修日(土)	講師	科目名
7	11月26日	松岡(裕)	初期日本語指導 ・生活者への初期指導のシラバスデザイン ・教案作成 ・合評→講師フィードバック
		松岡(裕)	
8	12月10日	トヤマ・ヤポニカ 講師	長期滞在者の基礎学び直し ・自然習得的な学習者の基礎学び直しクラスのシラバスデザイン ・教案作成 ・合評→講師フィードバック
		中河	
9	12月24日	トヤマ・ヤポニカ 講師	長期滞在者の基礎学び直し ・自然習得的な学習者の基礎学び直しクラスのシラバスデザイン ・教案作成 ・合評→講師フィードバック
		トヤマ・ヤポニカ 講師	
10	1月7日	高畠	読み書き教育 ・識字とは ・読み書き教育の目的 ・カリキュラムデザイン ・教案作成
		高畠	
11	1月21日	トヤマ・ヤポニカ 講師	ライフステージに応じた教育の企画 ・学習者の状況や課題の把握 ・課題に応じた講座等の企画 ・シラバスデザイン ・講座等の企画
		品田	
12	2月4日	半原	年少者への支援 ・年少者への支援 ・成人への教育との違い ・子どもの言語と心の発達
		大河原・中河	プログラム評価 ・プログラムの視点で生活者日本語教育の現場を可視化し、評価と改善につなげる
13	2月18日 (1コマのみ)	中河・田上	生活者日本語教師に求められる力(4) ・地域の教室運営に必要なこと ・教室、参加者、地域の状況や課題の把握 ・課題解決に向けて
実 習			
期間、回数		講師	場所、実施回数など
1月、2月の間に 2回～4回 (受講者数により決定)		トヤマ・ヤポニカ 講師	・地域日本語教室で実施 ・1回当たり 3時間程度

○ スケジュールは、状況により変更する可能性があります

修了証の発行について

出欠状況や課題等の提出物、またテストの結果が基準を満たす場合、修了証を発行いたします。

「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」について

富山県では、令和2年度からこの事業を受託しています。

令和3年度からは、「生活者としての外国人に対する日本語教師」を養成するカリキュラムと教材の開発に取り組んでいます。より良いカリキュラムと教材をつくるために、地域日本語教育の第一線で活躍する県内外の専門家とともに、何度も検討を重ねてきました。

【カリキュラムの特徴】

- 地域日本語教育を機能させるために、**日本語教師にはソーシャルワーク的視点、カウンセリング力の基礎が必要**との知見を盛りこみました。
- 生活者としての外国人の**様々な学びの特徴・習得のあり様・ライフステージを理解し、効果的な日本語教育の企画力・実践力を身につけます。**
- 地域日本語教育の変遷・実情・課題を知り、**生活者としての外国人にとって理想的な教室のあり方とその環境を追求**します。



出典：文化審議会国語分科会(平成31年)『日本語教育人材の養成・研修の在り方について』

地域日本語教育に興味のある方はもちろん、これまで地域日本語教育に関わる機会がなかった方も、ぜひこの機会に受講をご検討ください！



©富山県

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



令和4年度「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」